

民間との協力体制で 市民サービスの向上を!



自民党・市民クラブ 田中 政義

1. 行政改革について

問) 職員適正化計画は計画目標を達成されたがその具体的な成果はいかほどであったのか?
政策部長) 平成13年の873人から平成26年の653人へと220人の正規職員を削減し退職手当、嘱託報酬、臨時職員の賃金などを含めた総人件費としては約18億5,000万円の削減効果を生んでいる。

問) 市長は役所機能のスリム化を掲げている。民間にお願いできるものと、職員みずからが行うべきものを洗い出して、上手くパートナーシップを図り効率のよい行政運営を進めて欲しい。今後、民生費等も増えていく事が想定される。更なる行政改革を不断の決意で進めて欲しい。
市長) 市民サービスの充実の為に、従来ある業務をどう整理して、民間の力を借りてやっていける業務がどれだけあるかということをも更に精査していく。市民の目から見てわかりやすく、そして職員が中心となって業務を進めていく姿が見える形を組織のスリム化として進めていく。

2. 消防団の定数充足の方策について

問) 消防団員の定数不足というのは当市に限った事ではなく全国的な課題であると認識しているが市ではどのような対策を考えているか。市の職員への勧誘というのも真剣に考える時期に来ているのではないか。事業者への協力要請ももちろんだがまずは市が率先して若手職員の入団促進を行うべきかと思うが如何か?
総務部長) 市の職員が積極的に消防団に加入してもらう事の働きかけは必要な事だと思う。既に国分寺市では業務に支障がない限りで活動してもらえる環境も整備されているので、今後も働きかけを行っていく。

3. 都市計画道路国3・2・8号線について

問) 平成27年度完成に向けて順調に進められていると認識している。国分寺区間の終点である五日市街道に並行して砂川用水が流れている。3・2・8号線を横断する形になり、またその前後も多少の影響があるかと思うが如何か?
都市建設部長) 横断については暗渠となる。今後、用水のつけかえ移設を想定して測量業務を行い、水路・周辺状況を把握して対応を図る。
田中) 権利者の皆様の御理解が必要不可欠である。丁寧な対応で進めて頂きたい。

その他 ぶんバス北町ルート試験運行について、消防団活動に役立つ防災アプリについて、3・2・8号線沿道まちづくり計画について、戸倉野球場の公有化について、国分寺駅北口再開発西街区ビルの公益施設について質問した。

長期展望に立った 道路拡幅整備計画を着実に



公明党 高橋 りょう子

(1) 道路整備計画について

問) 公共施設仮設時に整備し移転と共に撤去された仮歩道。市民からは段階的な道路整備計画の一環として拡幅されていくものと認識してい

たが残念との声がある。本市の道路の狭さは大きな課題。通学路など市内道路を総点検し、着実な拡幅整備計画で安全対策をすべきと考えるが。
市) 仮歩道で歩行環境が向上した事は充分認識しており改めて地権者の協力要請を検討する。

(2) 食育推進計画について

問) 国は平成26年度中に「食育推進計画策定100%を目標」とする。進捗状況は如何か。
市) 健康増進計画に含め年度内に策定する。

問) 食と共に重要なのが運動機能維持(ロコモティブシンドローム)対策。骨粗しょう症予防を始め推進すべきと考えるが如何か。
市) 毎日10分体を動かす等啓発に取り組む。

(3) 健康施策について

①問) 児童生徒の生活習慣病予防検診受診率が4.5%とは周知自体に疑問がある。国分寺独自の取り組みで、成長期の健康状況把握や隠れた疾病の早期発見治療に有効と認識するが如何か。
教育部長) 将来の成人病予防・リスク回避の為、事務的な書類配布から保護者会での丁寧な説明等に切り替え、意欲的に取り組む。

②問) 風疹や麻疹(はしか)が妊婦や胎児に影響し抗体は妊娠前予防接種が重要と。婚姻届申請時にワクチン接種推奨と注意喚起は如何か。
市) 市報周知に加え、検討したい。

(4) 安全安心施策について

①問) 災害時は電話回線の混線や携帯も繋がり難い。車輛の充電器で使用も可能なアマチュア無線が有効と聞く。近隣先進自治体の「市民団体支援協定」を参考に検討しては如何か。
市) 過去には実績があると認識。現状把握できおらず経緯を調査し協力を考えていく。

②問) 「障がい者支援のヘルプカード」が導入され喜びの声が届く一方、周知不足と。地域・市民又思いやり教育にも大切と考えるが如何か。
市) ポスター・リーフレット等で周知を図る。
教育長) 校長連絡会等で実物を見せながら紹介し、教育現場でも周知啓発を図っていく。

(5) ぶんバス北町ルート試験運行について

問) 公共施設並木公民館の駐車場がない。プロポーザル応募事業者は提案したのか。
市) 交通管理者との調整で現段階は困難と。本格実施運行時の課題として整理したい。

問) 一日も早い試験運行開始はもちろん、市民要望に沿ったバス停設置・運行に特段の努力を。
その他) アレルギー対策、授乳場所拡充等質問。

地域包括ケアの充実で 支え合う地域づくりを



公明党 木島 たかし

1. 事業及び予算の進行管理について

木島) 昨年度、進行管理の不徹底によって、予算化しながら実施に至らなかった事業が生じた(ぶんバス新規ルートの試験走行等)ことを踏まえ、事業管理のあり方について予算特別委員会で指摘をしたが、どのように改善したのか。
部長) 指摘と意見を踏まえ、厳しく進行管理を徹底する体制を作った。また予算事務規則についても実態が伴っていない部分を改善した。

2. 地域包括ケアシステムについて

木島) 団塊の世代が高齢期を迎える「2025年問題」への対応として、住み慣れた地域で安心して介護予防、介護、在宅も含めた医療等が受けられる地域づくりを目標とする地域包括ケアシステムの構築が求められる。その上で、在宅医療連携に積極的に取り組むべき。

部長) 所管が決まっていないのが実状だ。市民にわかりやすいような窓口を決めていきたい。

木島) 現段階から解決していくべき課題の一つが認知症対策だ。認知症初期段階の集中支援チームや地域支援推進委員を早急に設置すべき。
部長) 国の動向を踏まえ推進していきたい。

3. 子ども・子育て支援新制度について

木島) 市内私立幼稚園が新制度にどのように対応するのか、市として把握していく必要がある。特に「預かり保育」については幼稚園が新制度に移行する場合、市が密接的に関係することになる。保護者に安心していただけるよう、教育部と子ども福祉部が緊密に連携して体制を作り、最善を尽くしていただきたい。

部長) しっかりと連携をとって確実に対応する
4. 野川に架かる橋りょうの安全対策について
木島) 老朽化が進んでいる。劣化状況を確実に把握し、適切な安全対策の実施を。

部長) 基礎情報の調査を行い確実に保全する。

5. ぶんバス・万葉ルートについて

木島) ルート確保のために懸案となっている狭い道路の課題を克服するため、一部で一方通行化を検討すべき。
部長) 地元の方々の意見も踏まえ決めていく。

6. 交通安全対策について

木島) 花沢通り(本町四丁目)で車が南から北に向かう際、カーブしたすぐ先に横断歩道ある危険箇所がある。対策を講じるべきだ。
部長) 路面表示等について警察と協議する。

木島) これまで要望してきた、泉町二丁目交通広場が全面開放に向け検討されていることを評価。その上で、周辺市道も万全の安全対策を。
部長) 警察と協議を重ね、カラー舗装等を検討中。横断歩道設置も確実な状況になりつつある。

市民の利便性向上へ 広域連携の更なる推進を



自民党・市民クラブ 楠井 まこと

問) 人員を削る行政改革には限界がある。更に広域連携を拡大して欲しいが、市の西側、立川市との連携が見えてこない。市民の利便性向上のため、まずは図書館等の相互利用等の交渉から始めて頂きたいがいかがか?
答) 図書館長同士、現場レベルでは打診をしている。内容が整えば、締結に向けて動き出す。

問) 例えば西町と立川市栄町は隣接した交通不便地域である。こういった地域にコミュニティバスを他市と共同で走らせられれば、両市の市民の利便性、また運行にかかる経費節減で市財政にも寄与すると考えるがいかがか?
答) 他市の状況を把握し、あらゆる可能性を模索していく。

問) 国立市の国立駅北口ロータリー再整備計画に伴い、例えば停留所を西向きに停車できる位置に変更する等で、ルート延伸によって変更になったぶんバス西町ルートのダイヤを30分に1本の以前の形に戻せないだろうか?
答) 先月、国立市に国分寺市としては30分ダイヤに戻したい。そのため駅北口広場を、一周できるようなロータリー設置などを担当部署に御要望をさせて頂いた。

問) 道徳用新教材について。読んでみたが大変に良い教材だと思う。ところが一部では自宅に持って帰らせていないとの指摘があるが?
答) 文科省からの配布数に不足があり、生徒児

次ページに続く